

2 研究の実際（運動の特性を学ばせる体育授業の改善）

（3）指導・助言の工夫

①「技能」における指導・助言の工夫

★（低）「動き方に関する具体的な言葉かけ」を主にする。

★（高）「個人やチームでのよい動き方の気づきを促す言葉かけ」を主にする。



例

<低学年>		<高学年>	
技能	・体を横にして投げるとかっこいいね。勢いがつくね。		・正確に強くボールを投げるためにはどうすればよいかな。
	・投げる手と反対の足を出してみよう。 ・頭の後ろから、ボールを投げよう。		

②「態度」における指導・助言の工夫

★準備・片付けは、個人やチームごとに役割を与えるようにする。

★賞賛する言葉かけをし、よい態度に気付かせる。

③「思考・判断」における指導・助言の工夫

★（低）主に攻め方を考えさせる言葉かけ

★（高）攻め方のみならず、チームのよさを生かすことを促す言葉かけ

例

<低学年>		<高学年>	
思考・判断	・どうしたら、もっと点数が入れるかな？		・チームの攻撃や守備の特徴を学習カードからとらえてみよう。 ・勝ったチームの攻撃や守備のよさを考えて自分やチームと比べてみよう。
	・どう投げたらいいかな？ （ボールの投げ方、投げる順番、的を狙う場所）		

併せて①・②・③共通で、

★児童の中から出た個人やチームでの動きの良さを意図的に広める。

低：ぐんぐん言葉
きらきら言葉

→ 高：おたすけ言葉（技能向上）
はげまし言葉（意欲向上）